

大分東週報



国際ロータリー第2720地区
大分東ロータリークラブ



R.I.テーマ
「世界に希望を生み出そう」
大分東RCスローガン
「Come together」



画「大分駅のイルミネーション デジ絵その2」前田 修二

ガバナー 膳所 和彦
会長 前田 修二
幹事 佐藤 純也

2023-2024 第17回 例会 2023.12.7 No.2802

本日のプログラム（12月7日）

会 食

◎12:30

1. 開会並びに点鐘 前田 修二 会長
2. 国歌並びにロータリーソング斉唱「奉仕の理想」
3. ゲスト・ビジターの紹介 前田 修二 会長
4. 会長の時間 前田 修二 会長
5. 幹事報告 佐藤 純也 幹事
6. 出席報告 瀬口 清文 出席委員長
7. 委員会報告
8. ニコボックス 竹内 崇 親睦委員長
9. 今週のお祝い
 - <創立記念日>
 - 佐藤 純也会員 佐藤純也税理士事務所 12月1日
 - <会員誕生日>
 - 幾留 秀樹会員 12月8日

◎13:00

10. 例会企画
年次総会「次年度役員・理事の発表」

第16回（11月30日）例会記録

夜の例会「アートホテル」

・出席報告

会員 総数 33名 (免除 会員 9名)	11月16日（前々回）				10月26日 出席率 (修正)
	出席会員数	出席率	ゲスト	ビジター	
	19名	73.08%	3名	27名 (サイン受付)	96%
会員 総数 33名 (免除 会員 9名)	11月30日（前回）				11月9日 出席率 (修正)
	出席会員数	出席率	ゲスト	ビジター	
	22名	78.00%	0名	9名	100%

次回の例会（第18回12月14日）

クラブ協議会「上期を振り返って」

会長の時間（令和5年11月16日）

本日は、大分県運転免許センターでの職場例会です。白バイの模範演技も見せていただけるということで、期待しております。そのバイク（自動二輪）に関して、今日は少しお話しさせていただこうと思います。昔話になりますが、1965年までは「クルマの免許」に二輪免許がついてきていたことを知っている人はもはや少ないと思います。その後、何段階かあって1975年からは自動二輪、中型限定自動二輪（400ccまで）、小型限定自動二輪と細かく分類されることになりました。その1975年、私は高校1年生、4月に16歳になった頃です。青春時代なのでバイクへの憧れもちろんあって、いずれ乗りたいと思っていました。ところが、来年から中型という限定免許になると聞き、これは今のうちにバイクの免許を取りにいかないといけないと考えました。もちろん高校ではバイクは禁止でした。どうやって親を説得したかは覚えていませんが、実家のある県南から当時の大分市の運転免許センターまで通って、講習なしのぶっつけでバイクの一発試験を受けました。1、2、3回目、いくらやっても途中でNGになってしまいます。それでもこのチャンスを逃してなるまいと4、5回くらい受験したと思います。それでも合格

会長 前田 修二

には程遠いと教官に言われ、渋々諦めたのを覚えています。その後、バイクの免許を取得したのは、高校を卒業し大学生になってから、車の免許を取得した後にまた教習所に通って、やっと中型の免許を取得しました。バイトして、やっと250ccのヤマハのトライアルバイクを中古で買って通学などに利用していたのを覚えています。その後、私は「大型二輪（限定解除）」の試験を受けていませんが、寸分のミスでも即不合格という厳しさ。当時の情勢が影響したのか『大型二輪（限定解除）＝落とすための試験』だったと聞いています。事態が急転したのは、1996年（平成8年）のこと。それはハーレーダビッドソン社を有する、貿易赤字の著しかったアメリカ政府からの“突っ込み”でした。9年後の2005年（平成17年）以降、免許も取りやすくなり、高速道路の二人乗りもOKとなり、高速道路の80km/hの速度制限も撤廃されたようです。今では年齢的なこともあり怖くてバイクには乗れませんが、大切なのはクルマでもバイクでも安全第一ということですね。今日は楽しみにしてきましたので、宜しくお願いいたします。

職場例会

大分県運転免許センター



特報版

- 12月のプログラム 12月 7日（木） 年次総会「次年度役員・理事の発表」
12月14日（木） クラブ協議会「上期を振り返って」
12月21日（木） クリスマス家族例会「大分モノリス」にて
- 1月のプログラム 令和6年1月10日（水） 新春合同例会 トキハ会館 5F「ローズの間」
*12月28日（木）・1月4日（木） 休会

家庭集会の開催報告

参加者・織部先生、城内会長、瀬口先生、松本支店長、森の5名
都町の竹善にて11月23日、18時半より食事をしながら和やかに話をしました。

最初に城内会長より、世の中の流れ（人口が減ってる、企業数も減ってる）中、これからのロータリーが会員を増やしていく為にはいろんな今までの常識や決まり事を取っ払っていくくらい、根本的に変えていかないといけないのではないかと問題提起がありました。

ネットのロータリーが会員数を増やしてきている事に対して、何故、増やしているのかという話しになりました。

先日、大分東ロータリークラブの昼例会に会員増強の地区委員で来られた紅葉谷さんがOKロータリーに入ったという事で、その中でも言っていました、例会はネット上ですがリアルな会員同士の交流がいい（勉強になる、楽しい）との事でした。

織部先生から、ロータリークラブは元々、いろんな企業の方々と交流し親睦を深める事が目的で作られたものなので、そういった親睦に力を入れていく事は大事な事だという話しになりました。

松本さんは大分支店に赴任してきて初めてロータリークラブに入ったけども最初、例会に行くのが億劫だったが、夜例会に行ってみて楽しい人たち、来てよかったと思えたと思えたと自らの経験を通じてロータリークラブの良さを実感したのは夜例会だったという話しがありました。

城内会長も、最初、行くのが億劫だったけども、ロータリークラブは仕事と関係がない中での交流ができる事がすごくいいと思えた。

夜例会での交流・親睦が大事だと思うので、ここに知り合いをお誘いするのがいいが、誰もが入会しやすい様に会費をもう少し安くできないか？との話になり、瀬口先生からもハードルを下げていく事も大事な事ではないかと意見がありました。

瀬口先生は織部先生と親戚にあたり、そんな関係からのお誘いで入会されたそうで、会員の身の回りに新規入会候補の人はいるのかもしれない。

織部先生より、月々、3万くらい（会費）と思いますが、それである業種の違う方々と触れ合って交流できるロータリーは価値があると思う。それを、どう解ってもらえるようにするか（広報）をどうしていくかですが、夜例会に来てもらう事に全力を尽くしていく事が会員増強につながる大きなポイントがあるとの話で締めくくりました。

雑談も大変、活発に行われ、織部先生が神戸で大学生の頃、ホストクラブでアルバイトをした事があるなど大変、楽しく盛り上がりました。

以上です。

【第4班】家庭集会の報告／レポーター 佐藤純也

日 時：令和5年11月2日（木） 18：30～

場 所：料理工房 本母

出席者：那賀圭介会員（リーダー） 抜間直己会員 阿部克哉会員 有吉吾一会員 岩崎哲朗名誉会員 佐藤純也 計6名

※「会員増強」～会員増強できるために東RCがどんなクラブであるべきか？～

上記のテーマの熱い議論を論じる前に、お店の女将さんより、11月の料理のご案内があり、那賀リーダーの乾杯の音頭で会がスタートした。

先ず、大分東RCの現状把握が行われた。

- ①大分市内に9RCが有り、分散してしまうこと
- ②会費が高いイメージがあること
- ③転勤族が多いこと
- ④大分ほとんどの経営者への声掛けを実施していること
- ⑤会員数が多い時に比べ半減していること
- ⑥週一回の参加をしなければならないこと
- ⑦若い次世代の会員が少ないこと

今後、我が大分東RCとしては、このような課題に対処しつつ、大分市内で最も居心地の良いRCである事を継続し、今後も真面目な方、又、人として素晴らしい方特に女性会員の増強に向けて、会員各自が勧誘活動をする事を皆で誓いあって、会員相互の親睦結束を深める家庭集会是は終わりを迎え散会した。

日 時：令和5年11月17日（金）

テーマ：会員増強

参加者：菅 雅幸、岡村 邦彦、佐藤 佳郁、三島 麻衣、幾留 秀樹、中前 喜裕 計6名

〈議論内容〉

- ・佐藤会員より、歴代の会長名簿を参加者全員に配布していただく。
- ・将来にわたり、大分東ロータリークラブが充実したロータリー活動を行っていくには会員増強は欠かせない。
- ・新会員の選定にあたっての観点として、「先入観で選ばない」「偏見を持たない」「年齢の高さ、低さで判断しない」「学歴で判断しない」が挙げられ、重要な要素の一つである「人柄の良さ」「全うな考え方を有しているか否か」で判断していくべきとの共通認識を持ち合わせた。

夜の例会「アートホテル」

11月30日（木）



ロータリーソング

奉仕の理想

奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我等の生業
望むは世界の久遠の平和
めぐる歯車いや輝きて
永久に栄えよ我等のロータリー

国際ロータリー第2720地区 大分東ロータリークラブ

創立 昭和38年3月6日

例会日 木曜日・12時30分

例会場 トキハ会館4F「つばきの間」

会長 前田 修二

幹事 佐藤 純也

事務所 〒870-0021

大分市府内町1-2-15

(トキハ会館4F)

TEL532-0611 FAX532-8386

ホームページ <http://www.higashi-rc.com/>

メールアドレス oitahigashirc@mist.ocn.ne.jp